

風呂敷

風呂敷は物を包む正方形の布で、様々な大きさ、色、デザインがあり、楽しめます。

その昔、蒸し風呂に入る際、広げた布の上で脱衣し、その服を包んだことから「風呂敷」と呼ばれるようになりました。

風呂敷は、包むものがない時は小さく畳んで持ち運びに便利です。

レジ袋が石油を消費し、焼却時に二酸化炭素を排出することから、レジ

袋の利用を止めて、風呂敷を持参するようになります。

環境にやさしいと、近年、風呂敷が見直されています。

特別授業では、筒状のもの、ボール、買い物籠、酒瓶など

様々な形のものをお酒落に包みました。(3/19)



こどもの日

5月5日は「こどもの日」。「端午の節句」、「菖蒲の節句」とも呼ばれます。

この日は男の子の健やかな成長を祈り、

各地で様々な行事が行われます。

特別授業では、柏餅を食べ、折り紙で兜をおりました。皆、折り紙は上手です。その後、飾り物の兜をかぶって記念撮影。

最後に、童謡「こいのぼり」

を皆で歌いました。(4/30)

